



# 天文台だより

銀河の森天文台  
1999夏号  
vol.4

## 銀河の森コテージ村 宿泊予約受付

昨年7月から建設中のコテージ村、6人用は8月1日泊、10人用は9月12日泊より予約の受付を開始しました。

銀河の森コテージ村《りくべつ産のカラ松で》

- コテージ6人用(半地下タイプ2棟) 1棟 20,000円/泊  
99.4㎡+ロフト11.5㎡/サウナ付・ベッド4人・和室2人・ロフト2人
- コテージ6人用(ログ風4棟) 1棟 18,000円/泊  
99.2㎡/ベッド6人
- コテージ10人用(32cmログ1棟) 1棟 30,000円/泊  
142.6㎡/サウナ付・ベッド7人・和室4人

■3泊以上連続して利用する場合、1泊につき3,000円を割引きます。ただし、7月1日から9月15日の間は適用されません。

■管理棟にて研修又は焼肉等の利用ができます。3時間までお1人様 300円

【IN】PM1:00 【OUT】AM10:00

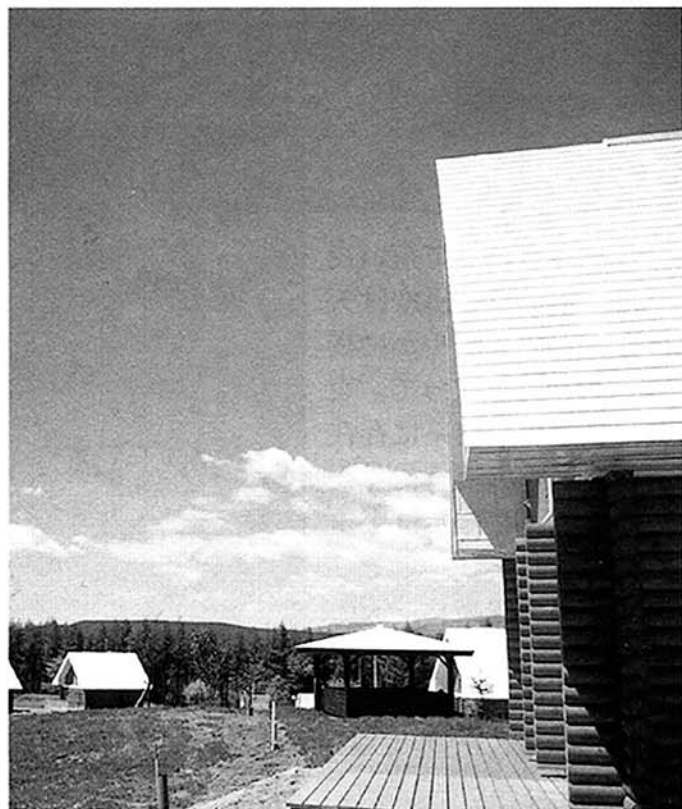
※寝具・調理器具・食器(箸を除く)は装備されています。

(お問い合わせ先) 銀河の森コテージ村

TEL 01562-7-4040

FAX 01562-7-4041

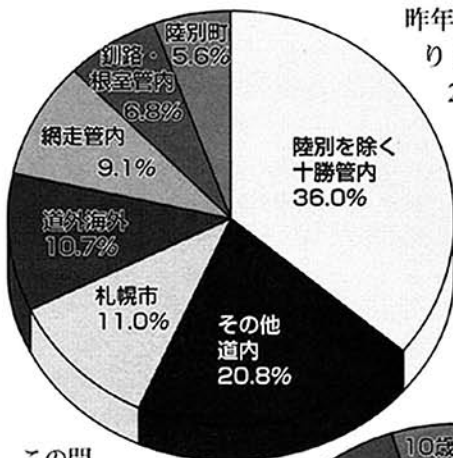
銀河の森天文台の兄弟施設です。ぜひ皆様のご利用をお待ちしています。



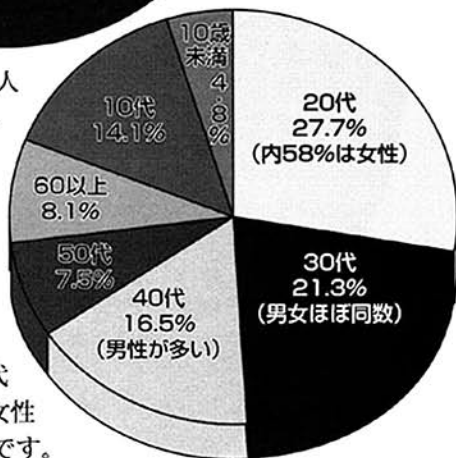
## オープンより開館228日

昨年7月7日オープンより5月30日で開館日228日に至りました。

この間、夜の観望可能日は131日(58%)でした。昨年夏の例年にならぬ悪天を加味すれば、良い結果と判断しています。



この間の入館者は14,777人です。2,545人(17.2%)の皆様がアンケートにお答えをいただいた結果です。特徴的な点にしては42.5%が道東以外からの来館と20代の方、その中でも女性の来館が多いことです。



## 初めてのゴールデンウィーク

4月29日(木)みどりの日から5月5日(木)の天文台にとって初めてのゴールデンウィーク。5月2日までは最高の観望日より、5月2日は開館以来最高の687人の来館者の皆さんに満天の星を見ていただくことができました。

しかし、3日は観望不能日。特に5日は大雨洪水警報、後半に天文台への計画の皆さんにとっては残念な連休となりました。この7日間で1,595名の入館でした。

来年、スケジュールを決めるお得な情報「まず、晴れたら何をさておいても天文台に行こう!」。

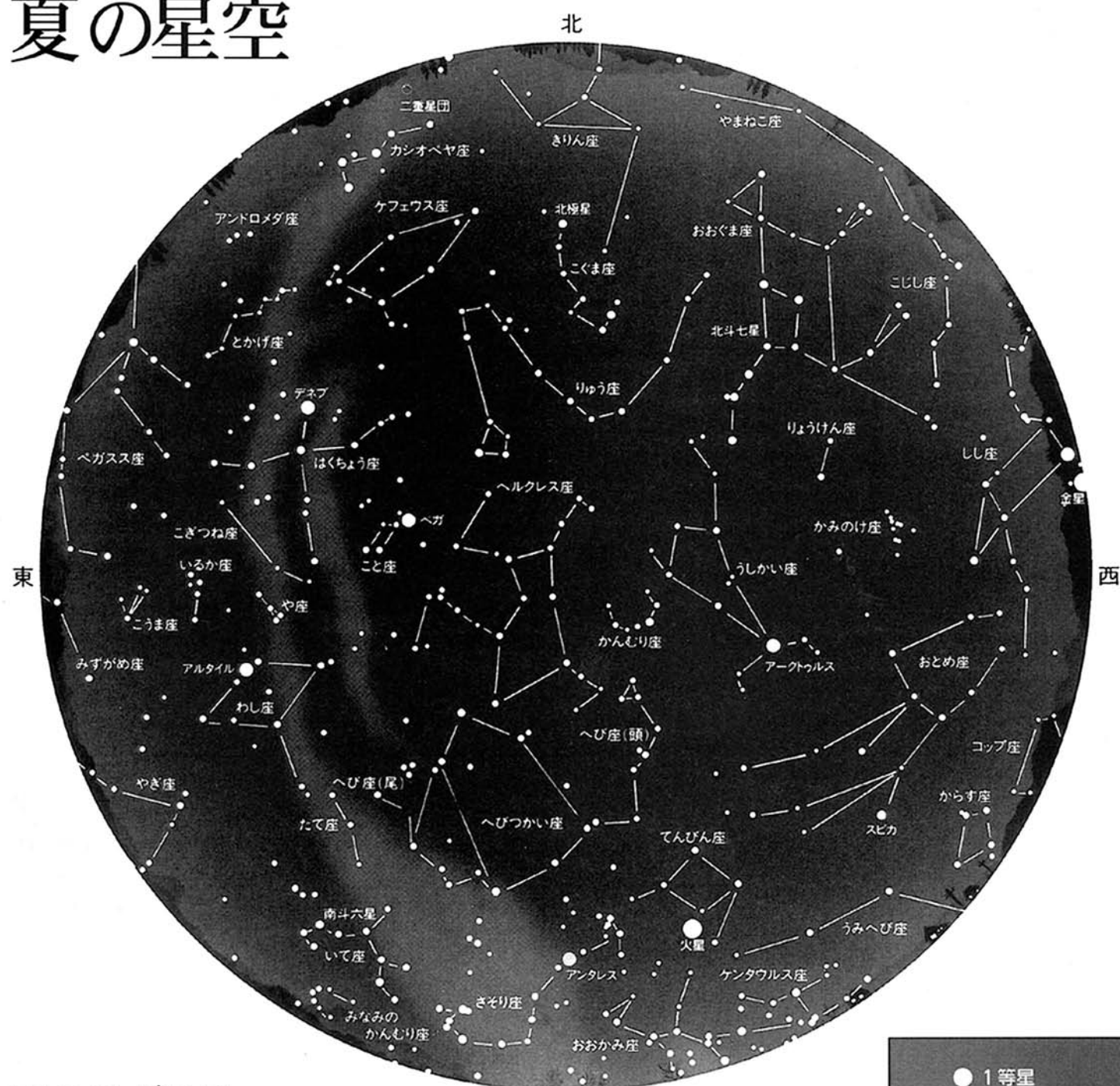
## 第11回「星空の街・あおぞらの街」全国大会

9月11日(土)～9月12日(日)

陸別町タウンホール・銀河の森天文台での開催が決定しました。タウンホールでは、講演会・パネルディスカッション。天文台では11日の夕ぐれ屋上広場において星空コンサートが予定されています。

詳細が決まりましたら天文台から情報を発信します。皆様の参加を募ります。

# 夏の星空



## 夏のみどころ

夏になり、すっかり昼間の時間が長くなりました。だからといって短い夜の星空はおとなしくなってしまったわけではありません。逆に夏の星空は天の川が大きく広がり、またいくつもの明るい星々が輝き、とても賑やかに夜空を飾っています。夏の天の川は一年中で一番見やすく、北から始まって、東の空高くを通り、南の地平線へと続いています。それは私達の銀河系に存在する約2千億個の星々を真横から見た姿です。まるで、白い雲のように見える光の帯がそうした無数の星々の集まりであることを思う時、私たちは宇宙の大きさと、また同時に人間の存在の小ささを感じずにいられません。そしてまた、夏の星座たちも、天の川に沿って輝いています。東の空高く、天の川の真ん中あたりに、明るく輝く三つの星が、「夏の三大角形」です。こと座のベガ、わし座のアルタイル、白鳥座のデネブからなっています。

7月28日には久しぶりの部分月食や8月12、13日には毎年恒例のペルセウス座流星群があります。夏の天文イベントもお見逃しなく。

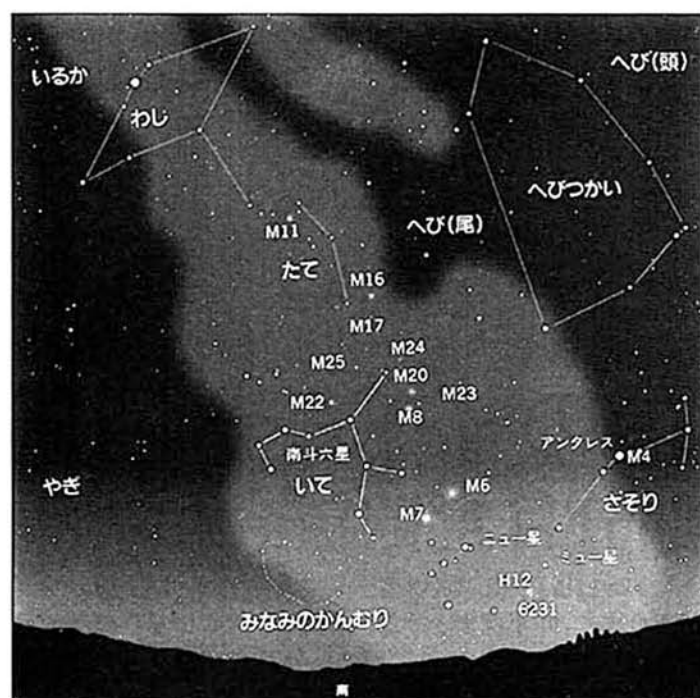
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星
- 変光星
- 散開星団
- ⊛ 球状星団
- ⊙ 惑星状星雲
- 散光星雲
- 銀河

# 星座ガイド

## いて座

天の川を、北から南の方へたどっていくと一番南の方向は、天の川の帯が少し太く見えると思います。なぜならこの方向が私たちの銀河系中心にあたり、たくさんの星が密集しているからです。

そして、この銀河系の中心方向にある星座が「いて座」です。いて座の目印はひしゃくの形をした「南斗六星」です。星の数が1つ少ないものの、北の空に輝く北斗七星に形が似ているために、南斗六星と名づけられました。星の並びから「いて」を想像するのは難しいですが、さそり座の心臓にあたる「アンタレス」をめがけて弓をひく姿が夜空に描かれています。



## M 8 干潟星雲

いて座の中には美しい天体がいくつもあります。その中で、夏の夜空でも最も美しい天体のひとつといわれるのが、M 8 干潟星雲です。見かけの大きさは満月の2倍ほどの大きさがあり双眼鏡を向けると、淡く広がった星雲に囲まれて光る美しい星々の姿が見えます。冬のオリオン大星雲(M42)と並んで代表的な夏の散開星雲で、ここもやはり活発に星が誕生しつつある所です。

写真左側の散開星団NGC6530はこのM 8から生まれた若い星の集団です。また、散光星雲M 8はその星団の中の高温星などの紫外線によって熱せられて輝いています。

## 夏の暦

(陸別町)

	日の出	日の入	月 齢	月の出	月の入
7月1日	3:44	19:13	17.3	20:41	5:48
7月15日	3:53	19:08	2.0	6:04	20:38
8月1日	4:10	18:52	19.0	20:58	7:51
8月15日	4:25	18:33	3.7	8:11	20:41
9月1日	4:44	18:05	20.7	21:09	10:19
9月15日	5:00	17:40	5.2	10:01	20:35

## 「食」天文まめ知識

今年7月に部分月食。8月にヨーロッパ方面で、皆既日食があります。ではその「食」とは一体どういった現象なのでしょう。

「食」とはひとつの天体が、他の天体を隠す現象で、日食は月が太陽を、月食は地球が月を隠す現象です。その他に月や惑星が恒星などを隠す星食(または「えんべい」)もあります。また、隠す天体が小さく、隠される天体が大きい場合には経過(または通過)といいます。

(例：水星の日面経過)

# 天文行事&暦

- 7月**
- 7 七夕  
小暑(24節季:太陽黄経 105°)
  - 13 ●新月
  - 15 金星が最大光度(-4.5等)
  - 23 大暑(24節季:太陽黄経 120°)
  - 26 海王星が衝
  - 28 ○満月  
部分月食:欠け率40%(19:18~21:50)
  - 29 みずがめ座流星群が極大の頃(最大4個/時)

- 8月**
- 7 おうし座のアルデバラン食
  - 8 立秋(24節季:太陽黄経 135°)
  - 11 ●新月  
(ヨーロッパ~西アジア方面で皆既日食)
  - 12~ ペルセウス座流星群が極大
  - 13 (最大50個/時)
  - 17 七夕(旧暦)
  - 23 処暑(24節季:太陽黄経 150°)
  - 25 天王星の食(21:01)
  - 27 ○満月

- 9月**
- 2 天王星がやぎ座のθ星に最近  
ヒヤデス星団に下弦の月が接近
  - 8 白露(24節季:太陽黄経 165°)
  - 10 ●新月
  - 18 火星がさそり座のアンタレスに最近
  - 23 秋分(24節季:太陽黄経 180°)
  - 24 仲秋の名月(少し欠けている)
  - 25 ○満月
  - 26 金星が最大光度(-4.6等)

## 春のイベント情報 部分月食観望会

7月28日(水)午後7時18分~9時50分にかけて、部分月食があります。昨年はまともな月食がなく、久しぶりの部分月食となります。欠け率40%程の部分月食を天文台で双眼鏡や望遠鏡等を使って観望します。

開催日時 平成11年7月28日  
午後7時~10時

場所 銀河の森天文台 屋上

内容 ・月食についての説明会  
午後6時から展示室にて開催  
・双眼鏡、望遠鏡等にて、欠けてゆく月を観望します。

参加方法 自由(入館料は通常どおり)

## ペルセウス座流星群観望会

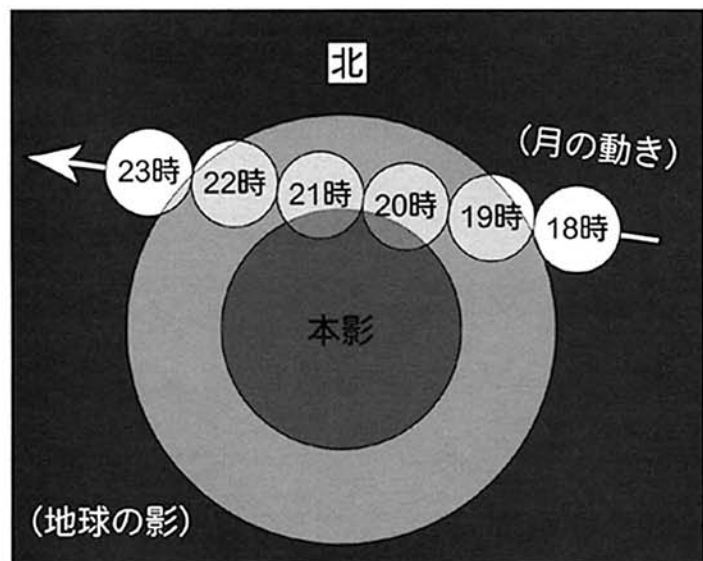
年間の3大流星群のひとつに挙げられるペルセウス座流星群が8月12~13日頃に見られ、この夏の大イベントとして流星についての説明も交えながら天文台で観望会を開催します。

流星の極大時間 13日午後4時(最大50個/時)

開催日時 平成11年8月12日(木)、13日(金)  
午後7時~10時30分

内容 ・ペルセウス座流星群についての説明会(各20分程)  
1回目午後7時  
2回目午後9時  
・屋上にて流星観望会

参加方法 自由(入館料は通常どおり)



### お知らせ

お盆期間中の8月16日(月)、天文台は休まず開館いたします。お休みを利用して、皆さんでお越しください。

### 売店 INFORMATION

天文台のオープンに向け、天文台オリジナルグッズとしてTシャツ・石細工・テレカ・絵葉書・キーホルダー・巾着袋・アイスクリーム等を、町内の方々に創りだしていただきました。売店で来館の皆さんに陸別の思い出として購入していただいています。好評です。

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL:01562-7-8100 FAX:7-8102

URL:<http://town.rikubetsu.hokkaido.jp/tenmon/index.html> E-Mail:[ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp](mailto:ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp)